

UNIT 3/ 比較(4)

《解答》

- (810) 4 (811) 4 (812) 2 (813) 3 (814) 3  
 (815) 1 (816) 2 (817) 1 (818) 3 (819) 4  
 (820) 4 (821) to (822) 3,542(other, than his best)  
 (823) 526,734(no way, of reaching the island other than by boat)  
 (824) 1374562(He is four years junior to me.)  
 (825) 62735(Englishman prefers doing to talking)  
 (826) 6738(much better thanks to)  
 (827) 6135274(または6135247)(their differences in the friendliest way possibleまたは friendliest possible way)  
 (828) 5,32,4(used, much less a new one)  
 (829) 53416278(second largest gold market in the world after London)  
 (830) ③(thanをtoに直す)  
 (831) ①(more six hoursをsix more hoursに直す)

《問題文の和訳と解説》

- (810) 学校で必修科目であるということ以外にも外国語を学ぶ理由は多くある。  
 other than A「A以外に」(=apart from A, except A)。正解は④。
- (811) 彼は君より10才年上です。  
 be senior to A「Aより年上の」(⇔be junior to A「Aより年下の」)。正解は④。
- (812) 彼の論文は私のものより優れている。  
 be superior to A「Aより優れて」(⇔be inferior to A「Aより劣って」)。mine=my paper。  
 正解は②。
- (813) メアリーは彼女自身の妹より5才年上です。  
 数値の差を表す前置詞は by。正解は③。
- (814) 彼女は自分の仕事を知らないのに、私とほぼ同じくらい稼ぐ。  
 as much as I doという語順で「私が稼ぐのと同じ位多く」という意味。「ほとんど～」という意味のnearlyはその直前に置き、nearly as much as I doとすれば、「私が稼ぐのとほとんど同じ位多く」という文になる。③が正解。asはmuchを修飾しているので、①as nearly much asの語順は不可。
- (815) 私のカメラは君のよりずっと良い。  
 選択肢の中で比較を強調するのは①much。②more + 比較級という表現は存在しないので注意すること。他に比較を強調するものには、still, even, (by) far, yet, a lotなどがある。
- (816) 誰もが自由を享受する権利がある。まして人生は言うまでもない。  
 肯定文、still[much] more A「～だ。Aはなおさらだ(Aは言うまでもない)」。②が正解。  
 ③still lessを使うのは、前の文が否定の時。この表現は、Everyone has right to enjoy his liberty, not to speak of his life.などに書き換え可能。not to speak of A= not to mention A「Aは言うまでもなく」。

- (817) 私は彼女に話しかけもしなかった。まして彼女と君の個人的な問題を話し合うなどしたわけもない。  
否定文, still[much] less A 「～でない。Aはなおさら～ではない (Aは言うまでもなく～ではない)」。
- (818) あと少し踏まなければならない手続きがあります。  
空欄の後のproceduresが複数形である点に注意。①anotherは通常は単数名詞を修飾。②、④のmuchは可算名詞は修飾しない。したがって③some moreが正解。
- (819) 私は結果については全く心配していない。  
not in the least 「全く～でない」(否定の強調)。④が正解。
- (820) 彼は私より3才年下です。  
年齢差 + younger than A = younger than A by 年齢差「Aより～才若い」。④が正解。この表現は、He is three years my junior.とすることも可。
- (821) 彼の計画は私たちのものより良い。  
be superior to A 「Aよりも優れて」を用いる。toが正解。
- (822) 訳文はテキスト参照。  
正解はother, than his best. other than A 「A以外の」を用いる。bestの後には関係代名詞のwhichまたはthatが省略されている。no other suits than his bestという部分は、no suits other than his bestという語順になることがあることに注意。
- (823) 訳文はテキスト参照。  
正解はno way of, other than by. other than A 「A以外の」を用いる。of reaching the islandがwayを修飾し、other than by boat もwayを修飾している。
- (824) 彼は私より4才年下だ。  
正解はHe is four years junior to me. be junior to A 「Aより年下の」を用いる。
- (825) 訳文はテキスト参照。  
正解はEnglishman prefers doing to talking. prefer A to B 「BよりもAが好き」。訳す際にAとBの順番を間違えやすいので注意。Aが目的語で主要な部分=好きな物や人。to Bは比較の対象。
- (826) 訳文はテキスト参照。  
正解はmuch better thanks to. muchは比較級betterを強調する用法。thanks to A 「Aのおかげで」。
- (827) 訳文はテキスト参照。  
正解はtheir differences in the friendliest way possible. あるいは、their differences in the friendliest possible way. 「いざこざを解決する」=「(お互いの間に存在する)違いを埋め合わせる」と意味を捉え、make up the difference 「差を埋め合わせる」を用いる。possibleは最上級の形容詞とともに名詞を修飾する際は、最上級+possible+名詞、という語順も、最上級+名詞+possibleという語順もどちらも使う。
- (828) 訳文はテキスト参照。  
正解はused, much less, new. 否定文, still[much] less A 「～でない。Aはなおさら～ではない (Aは言うまでもなく～ではない)」。usedとnewの前後を間違えないように注意すること。

(829) 訳文はテキスト参照。

正解はsecond largest gold market in the world after。「2番目に～」はthe second + 最上級。

(830) 幼い子供のときにも、私は古典的なミュージカルのほうが他の形態の音楽より優れていると思わざるを得なかった。

be superior to A「Aより優れて」。③のthanをtoに替える必要がある。

(831) その報告を仕上げるのに後6時間しかないから、君は急いだほうがいい。

数量表現がmore + 名詞を修飾する場合は、数詞 + more + 名詞の語順が正しい。①はmore six hoursをsix more hoursに直す必要がある。